

平成28年度
すくすく大分っ子プラン

《主な事業・取組み》

～平成27年度実績および平成28年度取組状況～

目標 1 妊娠・出産・育児の切れ目のない支援の充実

基本施策① 健診・相談・指導体制の充実

成果指標		H25実績	H31目標
低出生体重児の割合		8.4%	減少

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
1	妊娠・出産・育児に関する保健指導の充実	母子健康手帳交付時等に、保健師・栄養士の個別面接により、きめ細かな指導を行う。	妊娠届出時の保健指導実施率	94.4%	95%	96%	100%	【課題】 保健指導率の向上のため、本庁(市民課)の交付窓口を引き上げ、保健所へ統合。実績の推移を見ながら今後も交付窓口を検討していく。
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			母子保健普及啓発事業	—	—	—	△	
2	妊婦健康診査の推進	医療機関及び助産所において、健診(妊婦健康診査受診票を使用)を受け、妊娠中の異常を早期に発見し、適切な治療や保健指導に繋げる。	妊婦健康診査受診件数	51,928件	52,791件	53,000件	54,292件	【課題】 定期健診未受診者等のハイリスク妊婦に対し、関係機関と密に連携し、早い時期からの適切な支援に繋げることが必要。
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			妊婦健康診査事業	380,389	374,054	387,909	×	
3	訪問指導の充実	乳幼児や妊産婦等を訪問し、育児や発育などの相談に応じるとともに、母乳育児や家族計画等の情報を提供し、必要な保健指導を行う。 また、医療機関等からの情報提供により支援が必要な妊産婦に対し、訪問指導を行い、必要なサービス等に繋げる。	ハイリスク児への訪問率	100%	99%	100%	100%	【課題】 疾患や発達、家庭環境等に応じ、関係機関と連携して対象に応じた個別性のある関わりが必要。
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			訪問指導事業	—	—	—	△	
4	妊娠・出産・育児に関する相談支援体制の充実	各保健センター等の身近な場所で、保健師・栄養士等が妊娠・出産・育児に関する相談や治療費の公費負担等について切れ目のない相談・支援を行う。	電話や窓口等での相談件数	4,856件	4,917件	4,980件	増加	【課題】 対象に応じた適切な指導ができるよう保健師等の資質向上を図る必要がある。
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			すこやか育児窓口・電話相談	—	—	—	○	

基本施策② 親育ちのための支援の充実

成果指標	H25実績	H31目標
楽しく子育てができていると感じる保護者の割合	就学前:82.2% 小学生:71.8%	増加

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
5	子育て情報の提供	子育て支援サイトnaanaや冊子本「子育て応援ガイド」を活用し、子育て家庭に向け情報を提供します。また、サイト内に交流サイト「おしゃべりnaana」を設け、親同士が交流できる場を提供する。転入者に対して、冊子本配布等による情報提供を行うとともに、子育て交流センター主催の「ウエルカムパーティー」により、子育て家庭が早く地域になじめるよう後押しする。	大分市子育て支援サイト「naana」アクセス数	526,524件	506,945件	500,000件	450,000件	【課題】 サイト運営業務の委託化に伴う情報掲載基準の確立やボランティアスタッフの活用 【取組】 H27からサイト運営を民間委託し、民間情報を含めた幅広い子育て情報の提供に努めるとともに、スマートフォン対応のサイト改修を実施
			大分市子育て支援サイト「naana」SNS会員数	1,823人	1,944人	2,100人	2,000人	
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			サイト事業	2,413	6,600	7,200	◎、○	
			子育て応援ガイド	2,770	2,771	2,868		
6	出産・育児に関する教室や講座の充実	初妊婦やその夫を対象とした「プレママ・プレパパ教室」や、乳幼児の保護者を対象とした「すくすく赤ちゃんルーム」など、出産・育児について切れ目のない情報提供を行うための教室・講座を開催するとともに、保護者が悩みを抱え込まないよう育児相談や交流会を行う。	「プレママ・プレパパ教室」開催回数	15回	15回	15回	15回	
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			プレママ・プレパパ教室	977	977	977	◎	
			すくすく赤ちゃんルーム	2,111	2,294	2,486		
7	子育て講演会の実施	幼稚園や学校等の行事を活用し、保護者が子育てについて学習する機会を提供。他にも、1歳6か月健診時に「絵本の広場」、中学校1年時のPTA時に「思春期講演会」を実施し、家庭における教育力の向上を図る。	子育て講演会開催回数	64回	72回	74回	67回	【課題】 私立幼稚園への開催の呼びかけや講演会の講師や託児ボランティアの確保
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			子育て講演会	1,226	1,184	1,328	◎	
8	認定こども園等における情報提供	認定こども園等で未就学児童の保護者を対象に子育て相談や子育て情報の提供を行うとともに、保護者同士の交流の場を提供し、親子の育ちを支援する。	子育て支援事業実施施設の割合	72%	72%	増加	100%	【取組】 新規の認定こども園および保育所等に対し、実施を促進する。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			—	—	—	—	▲	

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
9	『NPお母さんひろば』の展開	乳幼児の保護者を対象とし、子育ての不安の解消を図るため、「～自分らしい子育てを見つけよう～『NPお母さんひろば』」を開催する。身近な地域で受講できるよう、関係機関と連携し、市内の各地域で展開	講座開催箇所数	6箇所	8箇所	8箇所	9箇所	【課題】 資格者のいる保育園が年1回開催できるよう計画の段階から連携が必要。 【取組】 NP認定ファシリテータ資格者がいる3保育園が新たに地域で開催予定。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			NPお母さんひろば	360	484	791	○	
10	乳児家庭全戸訪問事業の推進	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、不安や悩みを聞き、子育てに必要な情報提供を行い、地域の中で子どもが健やかに育つ環境づくりに努めます。支援が必要な家庭に対しては関係機関と連携し、必要な支援へ繋げる。	訪問実施率	95.4% (26年4月～11月生)	97.9% (27年4月～11月生)	100%	100%	【課題】 訪問拒否や連絡が取れない家庭がある。4か月までの間に全ての家庭への訪問や把握が必要。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			乳児家庭全戸訪問事業	13,397	14,211	18,729	○	
11	育児支援家庭訪問の実施	公立保育所の保育士が、育児に不安や悩みを抱える子育て家庭を訪問し、相談を受けるとともに、親子遊びや情報提供をする中で、安心して子育てできるよう支援します。	延べ訪問回数	41回	39回	50回	100回	【課題】 事業内容に養育支援に関するものを加えるなど、ファミリーパートナーを中心とした事業内容の充実が必要。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			育児支援家庭訪問事業	97	2	200	×	

目標2 乳幼児の発育・発達に向けた支援の充実

基本施策① 乳幼児の健診・相談・指導体制の充実

成果指標					H25実績	H31目標		
育児について相談できる人や機関がある人の割合					95.6%	増加		
No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
12	乳幼児の保護者に対する相談体制の充実	医療費の公費負担申請や、保健(福祉)センターにおける「すこやか育児相談」、保健師・栄養士等による家庭訪問、教室等での母親同士の交流の場を通し、仲間づくりや相談体制の充実に努める。また、相談専用ダイヤル「すこやか育児電話相談」を気軽に利用できるよう周知し、利用促進を図る。	乳幼児に関する電話や窓口での相談件数	6,398件	6,375件	6,500件	増加	【課題】対象に応じた適切な指導ができるよう保健師等の資質向上を図る必要がある。
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			すこやか育児電話相談事業	2,577	2,579	2,632	○	
13	乳幼児健康診査の機能強化	身体及び精神発達上の遅れや疾病を早期に発見し、適切な指導を行う。幼児健康診査において、必要に応じて心理専門員による育児相談を実施し、子どもの発達や育児不安への相談に応じる。未受診者に対して、訪問等により健康診査の必要性を説明し、受診率向上に努める。	1歳6か月児健康診査受診率	95.3%	96.0%	97.0%	100%	【取組】H27年度より、臨床心理士の正規職員を配置し、健診会場で全ての相談に応じることができるよう、健診の充実に努めている。
			3歳児健康診査受診率	94.5%	93.6%	95.2%	100%	
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			幼児健康診査事業	22,533	23,995	34,460	▲,△	
14	乳幼児のむし歯予防対策の推進	幼児健康診査や各種育児教室等の機会を捉えて、むし歯予防のための指導を行う。また、「歯の健康診査」「よい歯を育てる教室」「1歳6か月児健康診査」時、希望者にフッ化物塗布を行う。	3歳児健康診査時のむし歯保有率	18.7%	20.5%	19.1%	15%	【課題】歯科医師会等の関係機関との連携による幼児期以降の継続的な対策が必要。 【取組】H27から、1歳児を対象に教室を開始。フッ化物塗布やブラッシングだけでなく、食育指導も行っていく。
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			幼児健康診査事業	7,775	8,391	8,556	△	
15	予防接種の勧奨	市報、市ホームページ、リーフレットを活用するとともに、健康診査受診時の接種勧奨を行います。特に、麻しんの予防接種については、麻しん征圧運動のもと、積極的な接種勧奨に努める。	麻しん(MRを含む)1期・2期の接種率	1期:99.1% 2期:94.2%	1期:90.2% 2期:92.6%	95%以上	95%以上	【課題】幼児健診及び就学児健診時に接種歴の確認を行い、未接種者へ接種勧奨を行う等関係機関とのさらなる連携強化が必要。
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			予防接種事業	98,326	92,027	98,412	◎	

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
16	乳幼児の保護者に対する安全管理意識の啓発	乳幼児突然死症候群の発症予防、救急法の普及啓発、事故予防コーナーの常設展示により、事故予防対策の普及啓発を行う。	心肺蘇生法について情報提供及び健康教育の回数	14回	14回	14回	30回	【課題】 心肺蘇生法について知っている保護者は少なく、知識の普及が必要 【取組】 H27より、アンケート調査をもとにチラシ・ポスターを作成し、事故予防の普及啓発に努める。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			母子保健普及啓発事業	—	—	—	▲	

基本施策② 食育の推進

成果指標		H25実績	H31目標
三食規則正しく食べている3歳児の割合		94.8%	100%

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
17	乳幼児期における食育の推進	望ましい食習慣について普及啓発し、子どもの個々の発達に応じた「食べる力」を育むため、離乳食講習会や、健診会場等での健康教育・個別相談を行う。 食育サポートチームによる食育の推進を図る。	食育に関する健康教育の開催回数	117回	129回	130回	150回	【課題】 教室等に参加する保護者は比較的意識が高い。参加しない無関心層への働きかけが必要 【取組】 27年度より1歳児歯科検診で食育の講話を実施。今後は、回数を増やして実施予定
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			離乳食講習会	501	503	552	○	

基本施策③ 小児医療体制の充実

成果指標		H24参考	H31目標
大分市小児夜間急患センターの認知度		40.7%	60%

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
18	小児医療体制の充実	小児夜間急患センターにおける関係機関との協議・調整等、医療体制の確保・整備を図る。	—	—	—	—	—	
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			小児救急医療対策事業	50,013	48,395	49,367	—	

目標3 乳幼児期における教育・保育の提供

基本施策① 認定こども園、幼稚園、保育所等の量的拡大

成果指標		H25実績	H31目標
待機児童数		89人(4月) 134人(10月)	0人

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
19	待機児童の解消	女性の活力による経済社会の活性化の視点から、仕事と子育ての両立を支援する環境の整備が求められている。本市においても依然として待機児童が存在しており、その解消を図るとともに、幼児期における教育・保育を提供するため、必要な定員を確保する。	施設定員数	8,699人 (27.4.1現在)	9,021人 (28.4.1現在)	9,201人 (29.4.1見込)	9,843人	【課題】 H27年度から新制度が施行されたため、実数値によるニーズ量の見直しが必要 【取組】 既存施設の整備や、認定こども園への移行および保育所等の新設により、定員を拡大する。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			保育所等施設整備事業	923,280	276,233	548,082	○	
20	乳幼児期における教育・保育の提供	認定こども園には、幼保連携型・幼稚園型・保育所型・地方裁量型の4類型があるが、認定こども園の理念・意義及び教育・保育の質の維持・向上を図る観点からは、将来的には幼保連携型に集約していく方向で進めていくことが望ましいと考えられる。当面は、地域の実情に応じて、認定こども園の普及を目指していくことが必要	幼保連携型認定こども園の施設数	3箇所	18箇所 (28.3.31現在)	22箇所	30箇所	【課題】 施設の形態は、各施設の判断であるため、今後施設数が増加するかは不透明 【取組】 毎年幼稚園・保育所等に対して認定こども園への移行に関する調査を行い、各施設の意向を把握
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			—	—	—	—	○	

基本施策② 質の高い乳幼児期の教育・保育の提供

成果指標		H25実績	H31目標
就学前の教育や保育の内容に満足している保護者の割合		78.2%	増加

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
21	幼稚園教諭や保育士等の質の向上	より専門性を高めるため、保育教諭や幼稚園教諭、保育士等を対象とした研修を実施	研修実施回数	10回	12回	12回	4回/年	【課題】 参加者のニーズに応じた研修内容の充実
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			—	—	—	—	◎	

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
22	幼稚園教諭や保育士等の人材確保	幼稚園教諭、保育士等の人材を安定的に確保するため、保育士バンクや県やハローワーク等の関係機関と連携を図る。	ハローワークの月平均有効求人数(幼稚園教諭・保育士)	117.5人	137人	減少	減少	【課題】 保育士不足 【取組】 ハローワーク等関係機関と連携し、九州管内の保育士等養成校でセミナーを開催するなど、就職支援を行う。
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			人材確保事業	0	375	1,000	×	
23	家庭や地域社会と連携した幼児教育の推進	家庭の教育力や地域の教育的資源を活用するなど、家庭や地域社会と連携した教育活動の充実に努める。	家庭や地域と連携した教育活動を実施した施設の割合	80%	70%	85%	100%	【課題】 保育士不足 【取組】 ハローワーク等関係機関と連携し、九州管内の保育士等養成校でセミナーを開催するなど、就職支援を行う。
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			市立幼稚園子育て支援事業	1,092	690	1,528	▲	
24	発達や学びの連続性を踏まえた教育の充実	「大分市幼保小連携推進協議会」等の意見を踏まえ、各小学校区等の実態に応じて、認定こども園、幼稚園及び保育所等と小学校との連携を推進する。	校区幼保小連携推進協議会の設置率	100%	100%	100%	100%	【課題】 保育士不足 【取組】 ハローワーク等関係機関と連携し、九州管内の保育士等養成校でセミナーを開催するなど、就職支援を行う。
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			幼保小連携に関する研究推進事業等	1,307	1,272	1,743	◎	
25	教育・保育施設等の指導監督	認定こども園等の教育・保育施設や認可外保育施設に対する指導監督基準により、適切な教育・保育環境の確保に向け、指導を行う。	指導監督実施率	100%	100%	100%	100%	【課題】 保育士不足 【取組】 ハローワーク等関係機関と連携し、九州管内の保育士等養成校でセミナーを開催するなど、就職支援を行う。
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			—	—	—	—	◎	

基本施策③ 地域ニーズに応じた保育サービスの提供

成果指標	H25実績	H31目標
希望した時期や時間に保育サービスを利用できたと感じる就学前の保護者の割合	46.8%	増加

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
26	利用者支援事業	子どもと保護者、妊婦が必要で適切な教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、相談体制を整備する。	設置箇所数	—	3箇所	3箇所	3箇所	【課題】 事業の周知に努めるとともに研修を行い対応できるようにする。 【取組】 H28は中央ルームに心理士職、保健師を配置し更なる充実を図る。
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			利用者支援	—	5,686	19,030	◎	

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
27	一時預かり事業	保護者の短時間勤務や傷病・冠婚葬祭、育児疲れの解消等の理由で、一時的に保育を必要とする保護者のニーズに応えるため、定員を拡充。また、私立幼稚園や認定こども園に在園する児童を対象に教育時間の前後や長期休業等に預かり保育ができる環境を提供	利用定員数	80人	1,025人	現状維持	664人	【取組】 一般型については、既存保育所および新規保育所等でも事業者の希望があれば実施する。幼稚園型については、引き続き、認定こども園および幼稚園で実施する。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			一時預かり事業	一般型 19,710	51,332	97,848	◎	
28	延長保育事業	認定こども園等において、保護者の就労状況等により、保育時間を延長して保育を希望する保護者のニーズに応えるため、施設数を拡充していく。	実施施設の割合	93%	89%	増加	100%	【課題】 幼稚園から認定こども園へ移行した施設については、実施を希望しない施設が多い。 【取組】 新規保育所等を募集する際、延長保育の実施を必須条件とする。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			延長保育事業	139,166	56,633	99,294	×	
29	病児・病後児保育事業	保護者が就労している場合等において、児童が病気及び回復期に自宅での保育が困難な場合、安心して預けることができる支援体制を整備する。	利用定員数	48人	48人	増加	58人	【課題】 地域的なバランスから、現在の4箇所(大分西部、大分南部、鶴崎、大南)からの施設増が必要と考えるが、新規受託を希望する事業者がない。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			病児・病後児保育事業	67,431	76,296	87,099	▲	
30	子育て短期支援事業 (ショートステイ・ワイライツステイ)	保護者の病気・事故・冠婚葬祭・出張などの際に、子どもを一時的に児童養護施設等で預かるため、受入れ拡大に向けた検討を行う。	延べ利用日数	【シ】105日 【ト】6日	【シ】179日 【ト】25日	【シ】220日 【ト】14日	【シ】220日 【ト】14日	【取組】 利用希望者が可能な限り利用できるよう受入調整していく。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			子育て短期支援事業	667	1,142	2,223	×	
31	子育てファミリー・サポートセンター事業	保育所や育成クラブへの送迎を含めて、一時的に子どもを預かってほしい会員の依頼に応じて、育児の手助けができる会員を紹介。関係機関との連携により、利用しやすい制度構築に努める。	援助活動件数	2,987件	3,247件	3,400件	3,140件	【課題】 ・援助会員の減少 ・依頼会員、援助会員ともに、実際に活動した人の割合が低く、偏りがある。
			登録会員数	1,735人	1,804人	1,880人	1,990人	
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			子育てファミリー・サポートセンター事業	11,245	10,476	11,386	◎,▲	

目標4 知・徳・体をバランスよく育成し、生きる力をはぐくむ学校教育の推進

基本施策① きめ細かな指導の充実による学力の向上

成果指標		H25実績	H31目標
各種学力調査における全国平均以上の教科の割合		79.3%	100%

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
32	大分っ子基礎学力アップ推進事業	基礎学力向上研究推進校を指定し、教科指導における実践的・実証的な研究を進める。また、各種学力調査の結果から、教科別の分析や改善ポイント等をまとめた指導資料を作成し、各学校における指導の充実・改善に生かす。	研究推進校における公開研究発表会の実施率	100%	100%	100%	100%	
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			大分っ子基礎学力アップ推進事業	12,373	11,091	12,663	◎	

基本施策② 道徳教育の充実

成果指標		H25実績	H31目標
学校で子どもたちが健やかに育っていると感じる小学生の保護者の割合		90.1%	増加

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
33	道徳教育の充実	道徳教育研究推進校による公開研究発表会、「おおいた教育の日」における市内全小中学校での道徳授業の公開、児童生徒代表による大分市子ども絆サミットの開催等を通じ、学校における道徳教育の充実を図る。	「おおいた教育の日」における道徳の公開授業実施率	100%	100%	100%	100%	
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			道徳教育推進事業	1,836	89	136	◎	
			大分っ子心育て推進事業	1,513	1,886	2,702		

基本施策③ 心と体の健康の保持増進

成果指標	H25実績	H31目標
運動を見たり、したりするのが楽しいと感じる小中学生の割合	小学生: 73.2% 中学生: 85.3%	増加
周りの人も自分と同じように大切な存在だと思う中学生の割合	76.0%	増加

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
34	体力の向上	体力向上のため、指導方法の工夫・改善を図りながら、子どもたちが進んで運動やスポーツに親しむ意識の醸成を図る。学校での部活動充実や、校区・地区体育協会、総合型地域スポーツクラブなど、地域全体での連携・協働した取組を推進する。	体力・運動能力調査における全国平均以上の種目の割合	53%	73%	75%	60%	【課題】 わくわく事業については、実施校を増やすために講師をさらに確保する必要がある。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			大分っ子体力アップわくわく事業	1,862	2,039	2,762	◎	
			コーディネーショントレーニング	899	2,269	2,823		
35	健康教育の充実	学校・家庭・専門機関等が連携し、生涯にわたる心身の健康の保持増進に必要な知識や適切な生活習慣等を身に付け、自分自身を大切にするとともに、相手も思いやることのできるよう健康教育の充実を図る。	健康教育の開催回数	30回	40回	40回	40回	【取組】 他の人の立場に立って考える想像力を育成するため、体験活動のより効果的な内容や方法を検討し、実施に努める。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			思春期健康教育	457	466	477	◎	

基本施策④ 人権・同和教育の推進

成果指標	H25実績	H31目標
人の気持ちが分かる人間になりたいと強く思う中学生の割合	76.7%	増加

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
36	学校における人権・同和教育の推進	人権問題に関する知的理解を深め、人権感覚を身につけるためには、さまざまな人との交流や体験的な活動が効果的である。地域の人材や人権啓発センター等を活用するなど指導方法の工夫改善に努め、その充実を図る。	交流活動や体験的な活動を取り込んだ学習の実施割合	85%	98%	100%	100%	【取組】 他の人の立場に立って考える想像力を育成するため、体験活動のより効果的な内容や方法を検討し、実施に努める。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			じんけんハンドブックの作成・配布	503	534	503	○	

目標5 学校・家庭・地域社会が一体となった開かれた学校づくりの推進

基本施策① 開かれた学校づくりの推進

成果指標		H25実績	H31目標
学校ホームページのアクセス数		535,027件	540,000件

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
37	開かれた学校づくりの推進	学校HPや学校便り、学校公開等により学校の運営状況について積極的に情報を発信する。学校評議員や学校運営協議会等を活用し、地域の声を反映した学校運営に努める。	学校ホームページ更新回数	月10回	月14回	月10回	月8回	【取組】ICT支援員や放課後セミナーを活用した学校ホームページの作成支援
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			—	—	—	—	◎	

基本施策② 地域の教育的資源の活用

成果指標		H25実績	H31目標
学校、家庭、地域社会が協働して「信頼される学校づくり」の取組を進めていると感じる小学生の保護者の割合		78.8%	増加

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
38	生き生き学習サポート事業等	専門的知識・技能や豊かな経験を有する人材を、学校教育支援員として登録して小中学校に派遣。各学校独自で人材バンクを整備し、外部人材を活用した教育活動の充実	地域人材の活用人数	1,635人	1,382人	1,500人	1,900人	
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			生き生きサポート事業	2,430	1,550	1,902	×	

基本施策③ 放課後の居場所づくり

成果指標		H25実績	H31目標
指導員の有資格者数		制度なし	100%

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
39	児童育成クラブ事業	<p>・就労等により昼間保護者がいない家庭の小学生に対し、放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、健全育成を図る事業。</p> <p>・各小学校区毎の利用ニーズに応じた提供体制を確保するため、余裕教室の活用をはじめとする施設の整備を図る。</p> <p>・資格取得をはじめとする指導員の資質向上、放課後児童支援コーディネーターによる配慮が必要な児童への対応の充実、開所時間の拡充等により、事業の質的向上を図る。</p>	児童育成クラブ定員	3,244人	3,739人	4,411人	4,082人	<p>【課題】</p> <p>施設整備やクラブ運営に関する学校・教育委員会との連携強化、指導員の確保及び資質向上を目的とする待遇改善の実現、将来的な児童育成クラブ利用ニーズ量の適切な把握</p> <p>【取組】</p> <p>余裕教室の活用等による施設整備、H28から大在校区での民間クラブ補助事業の開始(モデル事業)、指導員確保に向けた人材バンクの設置</p>
			指導員研修実施回数(年間)	4回	3回	4回	5回	
			児童育成クラブ支援体制の整備	検討	コーディネーター配置		実施	
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			施設整備費	78,496	230,000	373,291	○,△,◎	
			指導員研修	8,948	0	247		
コーディネーター事業	—	5,639	6,555					
40	放課後子ども総合プランの推進	<p>・教育委員会と福祉保健部局の連携のもと、児童が放課後において多様な体験活動を通じて過ごすことができるよう、余裕教室の活用等について検討を進める。</p> <p>・放課後子ども教室と児童育成クラブの一体的な取り組みに向けて、関係者と情報交換を図りながら、放課後子ども総合プランを推進を図る。</p>	一体型の児童育成クラブと放課後子ども教室が整備されている小学校区の割合	10%	10%	19%	30%	<p>【課題】</p> <p>教育委員会と福祉保健部局の連携</p>
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			おおいたふれあい学びの広場推進事業	3,235	2,890	3,141	▲	

目標6 安心・安全な学校づくりの推進

基本施策① いじめ・不登校対策の充実

成果指標		H25実績	H31目標
小中学校におけるいじめの認知件数		560件	減少
不登校(30日以上欠席)児童生徒数		582人	減少

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
41	いじめ・不登校等対策の充実	「いじめ防止基本方針」に基づいた取組や、大分市いじめ・不登校対策協議会の開催、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の活用による教職員へのカウンセリング技術の指導・助言等により、相談体制の整備・充実に取り組む。 小中連携シートの活用により、中一ギャップの解消を図る。	スクールカウンセラー配置校における校内研修会等の実施率	55.3%	53%	増加	増加	
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			生徒指導関係事業(いじめ、不登校等対策協議会)	68	63	63	×	

基本施策② 危機管理体制の確立

成果指標		H25実績	H31目標
学校で子どもたちが健やかに育っていると感じる保護者の割合		90.1%	増加

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
42	情報モラル教育の充実	指導主事等を学校に派遣し、教職員を対象とした研修会や児童生徒・保護者を対象とした「ネット安全教室」等を開催し、情報モラル教育の充実を図る。	児童生徒、保護者を対象とした研修会の実施率	100%	100%	100%	100%	【課題】 時代の変化に対応した情報モラル教育の工夫・改善
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			教育の情報化推進事業	0	0	0	◎	
43	安全教育の推進	外部講師による安全講話や自転車安全教室の開催、視聴覚教材や通学路安全マップを活用した指導等を積極的・計画的に実施し、安全教育・指導の充実を図る。	—	—	—	—	—	
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			—	—	—	—	—	

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
44	飲酒・喫煙・薬物乱用防止教育の充実	健康・安全に関する校内組織を強化し、学校医や学校薬剤師、警察署等と連携するとともに、学校や家庭における飲酒・喫煙・薬物乱用防止に関する教育の充実を図る。	「薬物乱用防止教室」の開催学校数	85校	87校	89校	89校	【課題】 非行の低年齢化もあり、「薬物乱用防止教育」の充実がさらに必要である。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			薬物乱用防止教室	—	—	—	○	

基本施策③ 学校施設の整備・充実

成果指標	H25実績	H31目標
天井材や照明器具類の非構造部材の耐震化率	—	100%

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
45	学校施設の整備・充実	学校施設の天井材や照明器具等の非構造部材の耐震化を積極的かつ計画的に推進するとともに、安心安全な学校環境づくりに努めます。	小中学校の天井材や照明器具等の非構造部材の耐震化率	校(園)舎の非構造部材の調査を実施	都市ガス耐震化の実施12校(園)	都市ガス耐震化…5校(園)、バスケットゴール改修…3校(100%)	100%	【課題】 H28以降は、文科省から今後示される方針に基づき、安全対策を実施する必要がある。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			体育館のバスケットボールの改修やガス管の改修	12,911	27,504	16,300	◎	

目標7 子どもと家庭へのきめ細やかな支援

基本施策① 障がいのある子どもと家庭への支援

成果指標		H25実績	H31目標
障がい児を養育する家庭に対する支援に満足している保護者の割合		85.3%	増加

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
46	障がい児に対する地域療育等の支援	発達の遅れが疑われる乳幼児に対し、専門職員による巡回療育相談等により、療育機関での支援に繋げる。在宅障がい児の地域での生活を支えるため、訪問や外来等により、専門職員が療育指導・相談を行う。	療育相談件数	1,381件	1,122件	1,200件	1,550件	
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			地域療育等支援事業	17,873	14,154	14,000	×	
47	にこにこルームでの支援の充実	ことばや発達に不安のある、おおむね1歳6か月から就学前までの子どもとその保護者に通所してもらい、保育をとおして発達を促すとともに、保護者の子育て支援を行う。	療育機関に繋がれた割合	74%	83%	85%	90%	【取組】 保健所との連携を深め「にこにこ広場」の充実を図る
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			にこにこルーム運営事業	10,183	10,175	10,533	×	
48	特別支援保育の推進	保育所等での集団保育が可能な場合、個々の障がいの状況や発達の特性に応じた教育・保育を行なう。	特別支援保育を実施している保育園数	32園	28園	増加	31園	
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			特別支援保育事業	29,656	35,588	44,484	○	
49	放課後等デイサービス	授業の終了後または学校の休業日に、児童発達支援センター等の施設に通わせ、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他必要な支援を行う。	利用児童数	実数: 436人 延べ人数: 58,250人	実数: 514人 延べ人数: 74,735人	増加	増加	【課題】 学校との連携
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			放課後等デイサービス	506,014	671,235	779,800	○	
50	児童発達支援	就学前の障がい児を対象に、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練、その他必要な支援を行う。	利用児童数	実数: 262人 延べ人数: 27,473人	実数: 281人 延べ人数: 29,685人	増加	増加	【課題】 保健所・支援機関との連携
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			児童発達支援	287,695	310,672	308,400	▲	
51	保育所等訪問支援	保育所などを訪問し、現在利用している障がい児、または利用する予定のある障がい児を対象に、集団生活に適応するための専門的な支援を行う。	利用児童数	実数: 7人 延べ人数: 48人	実数: 18人 延べ人数: 86人	増加	増加	【課題】 保育所(園)・幼稚園・学校との連携
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			保育所等訪問支援	11,207	937	1,000	○	

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
52	発達障がい児巡回専門員派遣事業	保育所や幼稚園等の施設に専門職員を派遣し、施設スタッフや保護者に対し、障害の早期発見・早期対応のための助言等の支援を行う。	発達障がい児巡回専門員派遣回数	17施設 18回	10施設 12回	23回	増加	【取組】 委託機関との連携、情報共有を図る
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			巡回専門員派遣事業	1,167	745	2,000	×	
53	特別支援教育の推進	次年度就学予定の障がいのある幼児の保護者を対象に特別支援教育担当者等が公民館において、一人一人の子どもの障がいの特性に応じた就学相談を実施する。	巡回相談会の実施回数	6回	8回	10回	10回	【課題】 早期からの相談・支援に繋げるための関係機関との連携
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			教育相談・特別支援教育推進事業	11,207	6,900	9,200	○	

基本施策② ひとり親家庭の自立支援

成果指標	H25実績	H31目標
母子家庭等就業・自立支援事業における就職率	43%	50%

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
54	ひとり親家庭等の就業及び生活支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> 母子家庭等就業・自立支援センターにおいて、自立支援プログラムを作成し就業情報を提供 ひとり親家庭支援プラザにおいて、自立支援員による相談や資格取得講習会を実施 母子生活支援施設において、入所者の生活全般の相談に応じるとともに、学校等の関係機関と連携し、早期自立を促す。 関係機関との連携によるケースに応じたきめ細かな対応により、必要な支援が適切に届くように努める。 	講習会参加延べ人数	877人	747人	800人	800人	
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			ひとり親家庭支援プラザ	79	79	139	○	
			母子家庭等就業・自立支援センター負担金	1,203	1,203	1,212		
55	自立促進のための経済的支援	ひとり親家庭等医療費助成事業等による経済的負担の軽減を図る。母子寡婦福祉資金貸付制度の支援施策の対象を父子家庭に拡大(平成26年10月～)	福祉資金貸付件数	116件	64件	260件	185件	
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	44,027	43,615	103,670	×	

基本施策③ 児童虐待の早期発見と対応の強化

		成果指標		H25実績	H31目標			
		児童虐待相談のうち、重症度の高い相談の割合		2.6%	減少			
No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
56	要保護児童対策地域協議会の充実・強化	児童虐待の予防や、早期発見・早期対応、虐待を受けた子の心身のケア等、切れ目のない支援の充実を図るため、「要保護児童対策地域協議会」を中心とした関係機関の連携強化や活性化を推進する。「中学校区子どもを守るネットワーク会議」により、地域が一体となった要保護児童等の支援を行う。	「中学校区子どもを守る地域ネットワーク会議」の全校区開催	全校区 (27校区)	全校区 (27校区)	全校区 (27校区)	全校区 (27校区)	【取組】 各中学校区内の関係機関による地域支援ネットワークの充実を図る。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			—	—	—	—	◎	
57	養育支援訪問事業	乳児家庭全戸訪問事業等により養育支援が必要と判断される家庭に対して、ヘルパーによる育児・家事援助や保健師等専門職員の訪問による指導・助言により、個々の家庭の抱える養育上の諸問題の解決・軽減を図る。	訪問回数	272回	362回 ヘルパー派遣…3世帯 (延べ42回)、専門職員派遣…74世帯(延べ320回)	増加	増加	【取組】 育児に関して支援が必要な家庭に対して、ヘルパーや保健師等の訪問を積極的に推進する。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			養育支援訪問事業	196	168	600	○	
58	関係機関との連携強化	保護や支援を要する子どもに適切に対応するため、大分県中央児童相談所との連携・協力体制の強化を図ります。また、庁内ネットワークである「大分市児童虐待問題等特別対策チーム」の相互の連携体制を強化します。	関係機関との連携会議開催回数	134回	151回	増加	増加	【取組】 庁内関係課及び大分県中央児童相談所等との密接な連携・協力により、要保護児童等へ適切な支援を行う。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			—	—	—	—	○	
59	児童虐待防止のための広報・啓発	「子ども虐待防止の手引き」や子ども家庭支援センターリーフレットの配布、講演会等の開催など、市民や地域関係者に向け、児童虐待防止や虐待に関する通告義務の徹底についての広報・啓発活動に取り組みます。	児童虐待の相談対応件数	649件	658件	増加	増加	【課題】 市民向けの広報・啓発について検討が必要。 【取組】 子育て支援・児童虐待防止啓発講演会を毎年度開催する。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			—	—	—	—	▲	

基本施策④ 相談体制の充実

成果指標	H25実績	H31目標
育児に関する相談先がない人の割合	3.5%	減少

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
60	子どもに関する相談体制の充実	子どもに関する市民に身近な相談窓口として、中央・東部・西部に「子ども家庭支援センター」を設置し、複雑・多様化する相談にきめ細かな対応。相談内容に応じて、学校や保育所等との連携を図るとともに、必要に応じて専門の医療機関や療育機関での支援に繋げる。	子どもに関する相談件数	1,909件	1,734件	増加	増加	【取組】 相談に対してきめ細かな対応ができるよう、各種研修への積極的な参加により、職員の対応・支援のスキルアップを図る。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			—	—	—	—	○	
61	DVに関する相談・支援体制の充実	中央子ども家庭支援センター内にDV相談担当を配置し、配偶者等からの暴力(DV)に関する相談・支援を行う。婦人相談所等の関係機関や支援団体との連携を強化し、相談・支援体制の充実を図る。男女共同参画センターでも、女性からの相談内容に応じ、専門機関へ繋げる等の支援を行っている。	DVに関する相談件数	延べ971件	1,069件	増加	増加	【取組】 相談に対してきめ細かな対応ができるよう、各種研修への積極的な参加により、職員の対応・支援のスキルアップを図る。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			—	—	—	—	○	

目標8 子どもと子育てを支える社会づくり

基本施策① 地域における子育て支援拠点の整備と充実

成果指標				H25実績	H31目標
こどもルームでの育児等相談件数				1,138件	増加

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
62	子育て交流センターでの総合的な子育て支援の推進	子育て交流センターに、地域子育て支援室、こどもルーム、ファミサポ等の子育て支援機能を集約し、総合的な相談・支援体制を敷く。核となる地域子育て支援室では、育児相談や子育て情報の提供を図るとともに、地域で活動している子育て団体と連携を図り、地域の子育て力の強化を図る。	子育てサロン・サークル支援回数	27回	45回	50回	36回	【課題】 地域子育て支援室、こどもルーム、サロンを運営している民生委員児童委員が連携し、地域力の強化を図る。
			事業費（主な事業）	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			—	—	—	—	◎	
63	こどもルーム事業	市内11か所にこどもルームを設置し、親子の遊び場を提供し、親や子の交流を図るとともに、育児相談も行い、身近な地域で安心して子育てできる環境を整備する。	こどもルーム年間延べ利用者数	302,035人	297,728人	300,000人	300,000人	【課題】 育児相談等の支援体制の充実、職員の資質向上 【取組】 地域子育て支援室による子育てサロンの訪問支援に同行し、連携を図る。
			事業費（主な事業）	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			こどもルーム事業	95,725	97,326	102,581	○	
64	子育ての集い	地区公民館で、「子育ての集い」「乳幼児家庭教育学級」「子ども対象教室・講座」等を開催することにより、子どもの発達や心理、遊び等について学習する機会を提供し、家庭教育力の充実を図るとともに、地域で子どもを育てるためのネットワークづくりを推進します。	地域の子育て支援者の参加人数	162人	217人	217人以上	150人	【課題】 地域の子育て支援者や子育て支援団体の参加
			事業費（主な事業）	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			子育ての集い	152	125	157	◎	

基本施策② 地域住民との連携による子どもや家庭への支援促進

成果指標				H25実績	H31目標
地域で子育てが支えられていると感じる保護者の割合				就学前：55.1% 小学生：62.9%	増加

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
65	地域コミュニティ子育て応援事業	地域のボランティアを主体とし、未就学児とその保護者が気軽に集まれる場の提供を行う団体へ活動費の助成を行う。地域の人に見守られながら参加者同士で交流を深めたり、情報交換を行うなど、住み慣れた地域で安心して子育てができる環境づくりを行う。	延べ参加者数	25,495人	26,606人	27,000人	26,000人	【課題】 現在事業参加していない9サロンについて、事業参加してもらうための取組が必要
			事業費（主な事業）	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			地域コミュニティ子育て応援事業	3,674	4,670	5,600	◎	

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
66	ご近所の底力再生事業	自治会が行う子どもの見守り活動や伝統行事の継承活動などに対し財政上の支援をし、地域における青少年の健全育成や世代間交流の促進を図る。	「ご近所の底力再生事業」申請自治会の割合	85.0%	89.1%	90.0%	88%	【課題】 地域活動がほとんどない地域では、申請が困難 【取組】 職員が自治会長等に直接面会し呼びかけをするなどして申請率の向上を図っている。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			ご近所の底力再生事業	31,486	31,244	31,000	◎	
67	民生委員児童委員、主任児童委員に対する支援(大分市民生委員児童委員庁内サポート会議)	地域福祉の最前線に活動する民生委員・児童委員の活動を庁内関係課で連携し、制度横断的な支援を行う。また、地域の青少年健全育成諸団体との連携の強化を図り、青少年の健全な育成に努める。	民生委員児童委員からの通告・相談件数	23回	23件	増加	増加	【取組】 H28にアンケート調査を実施し、その結果を踏まえ大分市民生委員・児童委員庁内サポート会議において、民生委員児童委員業務のあり方について検討を行う予定。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			—	—	—	—	×	
68	おおいたふれあい学びの広場推進事業	地域住民や団体・グループ等が自己の学習成果や経験を活かして、学校を中心とした身近な場所で子どもの体験活動を中核とした事業に取り組む。	地域主体型実施校区数	27校	26校	28校	30校区	【取組】 地域主体型への移行に向けた地域との協議を進める。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			おおいたふれあい学びの広場推進事業	3,235	2,890	3,141	○	
69	あいさつOITA+1運動	あいさつに一言をプラスして会話へと広げ、人と人との絆を深めることで、地域ぐるみの子育てに取り組む機運を醸成する。	参加ボランティア団体数	521団体	547団体	550団体	550団体	【課題】 社会全体で子育てを支援することができるよう、地域ネットワークの構築を進める必要がある。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			あいさつOITA+1運動	4,152	2,824	3,164	○	
70	子ども会支援事業	子ども会のリーダーを育成する「子ども会ジュニアリーダー研修会」、地域の子ども会指導者としての実践力を養う「子ども会指導者研修会」を13地区公民館で行い、子ども会の活動を支援する。	研修会の実施回数	28回	29回	30回	30回	【取組】 複数回の実施に向けた働きかけを行う。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			子ども会育成指導者研修会	66	77	91	○	

基本施策③ 子どもが安心して暮らせる地域づくりの推進

成果指標		H25実績	H31目標
登下校時の事故件数		26件	減少

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
71	市民の自主的な安全活動の推進	「生活安全推進協議会」を中心として、市報への掲載、パンフレットの全戸回覧、自主防犯パトロールの実施などにより安全意識高揚を図る。	防犯パトロール活動団体数	571団体	581団体	585団体	600団体	
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			防犯灯補助事業	151,127	131,278	132,963	○	

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
72	こどもの安全見守りボランティア活動支援事業	保護者や地域の協力を得ながら子どもの登下校を見守る体制の整備・充実を図る。	ボランティア登録者数	31,271人	31,074人	増加	32,000人	
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			—	—	—	—	○	
73	みんなが利用できる公園整備	地域の中での憩いの場として、地域住民のニーズにあった施設・景観づくりを推進	多目的トイレ設置数(累積)	116箇所	120箇所	128箇所	148箇所	
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			整備事業等	44,709	59,245	63,000	△	
74	安心・安全な通学路の確保	小中学校が通学路の安全点検を行い、必要に応じて通学路の見直しを行う。危険箇所については、大分市交通問題協議会において関係機関が連携して改善に取組み、登下校時における児童・生徒の安全対策を図る。	市道における歩道等の整備延長	累計 16.788km	累積 20.288km	累積 22.458km	累積 23.13km	
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			整備事業	205,364	256,920	180,600	○	

基本施策④ 経済的支援

成果指標	H25実績	H31目標
子育てにかかる経済的負担が大きいと感じる保護者の割合	就学前:52.9% 小学生:65.7%	減少

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
75	児童手当	中学校終了までの児童を養育する人を対象に年3回、手当を支給	—	—	—	—	—	
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			児童手当給付	8,386,229	8,301,391	8,477,506	—	
76	子ども医療費助成	市内在住の中学生までの子どもの保護者が支払う医療費の一部を助成	未就学児申請率	98%	98%	増加	増加	
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			医療費助成	1,141,405	1,158,190	1,217,337	△	
77	就学援助事業	経済的理由によって小学校または中学校への就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、学用品費・給食費・医療費等を助成	—	—	—	—	—	
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			就学援助事業	527,853	533,979	576,971	—	
78	第3子以降3歳未満児の保育料の軽減事業	認可保育所に入所している第3子以降の3歳未満児の保育料について、兄弟入所の軽減を受けていない場合に半額を減免(一部全額減免)	減免者数	269人	320人	増加	増加	【取組】 該当者が漏れなく軽減を受けられるよう、引き続き、保育所入所の手引き、HP、窓口等で周知する。
			事業費(主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			第3子以降3歳未満児の保育料の軽減事業	32,283	42,189	—	○	

目標9 仕事と子育ての両立支援

基本施策① ワークライフバランスに向けた機運の醸成

成果指標	H25実績	H31目標
仕事と家庭が両立できていると感じる保護者の割合	【就学前】母…61.0% 父…52.2% 【小学生】母…69.6% 父…57.0%	増加

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
79	子育て支援中小企業表彰制度	子育て支援に積極的な取組を行っている中小企業を表彰し、広く市民に広報することにより、子育て環境の充実や啓発を行うとともに子育て支援意識の醸成を図る。	延べ表彰企業数	延べ7社	8社	10社	11社	【課題】 表彰制度の認知度向上を通じたワークライフバランス実現に向けた機運醸成
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			表彰事業	64	78	139	○	
80	市報や市ホームページを活用した啓発	市報や情報誌、市ホームページ等を活用し、市民に対してワークライフバランスに関する啓発を行う。国の動きや全国的な取組を把握しながら、情報発信の充実に努める。	HPでのワークライフバランス情報更新回数	8回	9回	10回	11回	達成状況
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			-	-	-	-	○	
81	事業所・市民向けセミナーの開催	仕事と家庭の両立支援に関するセミナーを開催し、事業所や市民への意識の醸成を図ります。また、男女共生講座の中でワークライフバランスをテーマとして取り上げることで参加者の意識の向上を図ります。	ワークライフバランス県民セミナー参加者数	180人	なし	なし	200人	※セミナーはH27から県が単独開催 【取組】 H27より、本市独自の取組として、男女共生講座を開催(回数:5回、参加者数:101人)
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			ワークライフバランス県民セミナー	0	0	0	-	

基本施策② 男性の育児参加の促進

成果指標	H25実績	H31目標
仕事と家庭が両立できていると感じる保護者の割合	2.27%	増加

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
82	父親向け育児講座の開催	父親を対象にした育児の講座を開催し、父親の育児参加を促進します。	講座開催数	8回	9回	9回	8回	【課題】 より参加者を増やすための広報の方法などを検討していく必要がある。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			育児講座	57	26	74	◎	

基本施策③ 若者の自立支援

成果指標		H25実績	H31目標
将来の夢や希望を持っていると答える中高生の割合		70.5%	増加

No	事業名	事業内容	評価指標	【参考】 H26実績	計画期間			課題・取組
					H27実績	H28目標	H31目標	
83	若年者等への キャリア形成支援	若年労働者が仕事内容や体験談などを中学生に講演することで、職業人としての責任・自覚を再確認するとともに、中学生の職業意識向上を図る。	中学校での実施校数	22校	25校	28校 ※分校1校含	27校	【課題】 講師の職種・事業所の拡大、内容の充実 【取組】 H28は全ての市立中学校で開催予定。今後は、私立中学校での開催を呼び掛ける。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			ヤングキャリアアドバイザー	635	654	879	○	
84	若年層への就 労支援	求職中の若者を対象とした事業所見学やセミナー開催により、就職活動を支援する。大分市立エスペランサ・コレジオにおいて、勤労青少年を対象とした資格取得をサポートする講座等を開講	事業所見学会の参加延べ人数	113人	121人		増加	【課題】 求職者が少ない業種への理解を深め、雇用のミスマッチの解消を図る必要がある。 【取組】 事業所見学会と就労支援セミナーの一体的開催や、若年者・女性など対象者を設定するなど、効果的な内容とする。
			事業費 (主な事業)	H26 決算額	H27 決算見込額	H28 予算額	達成状況	
			事業所見学会、就労支援セミナー	32	169	244	○	

新たな取組(新規事業)等

プラン区分 (目標-基本施策)	事業名	事業概要	事業開始 (事業期間)	事業費(千円)		
				H26決算額	H27決算 (見込)額	H28予算額
2-①	おおいた子育てほっとクーポン	未就学児の保護者にクーポン券を配布し、市が指定する地域の子育て支援サービスを気軽に利用してもらう。 【クーポンの対象となるサービス】一時預かり、インフルエンザ予防接種、フッ素塗布、子育てファミリー・サポート・センター など	H27.10~	-	35,075	173,206
2-①	3歳児視覚検査拡大事業	3歳児健診の会場で視能訓練士による機器等を用いた検査を導入し、検査精度を上げ、弱視等の早期発見・早期対策につなげる。	H28.4~			9,709
2-①	1歳児歯科(はじめての歯みがき教室)	歯の萌出期に正しい口腔ケアや食生活の指導を行うことによって、早期からの歯科健康管理及び健全な口腔の育成を図る。 (10か月~1歳3か月児対象)	H27.4~	-	335	391
3-③	市立幼稚園一時預かり事業(試行)	専任職員を配置した3園の市立幼稚園において、在園児を対象に通常保育終了後及び長期休業日等に、保護者の希望により有料で17時30分まで園児を預かる「一時預かり事業」を試行する。	H28.5~	-	-	10,682
5-③	民間放課後児童クラブ活用事業	学校敷地内で定員確保が困難である校区を対象に、民間(社会福祉法人等)が運営する放課後児童クラブを活用することで、提供体制の拡充を図る。	H28.4~	-	-	5,300
6-③	小中学校空調設備整備事業	小中学校に空調設備を整備し教育環境の改善を図る。整備方法は設置後の維持管理を含めた一体的な契約となる、PFI手法を導入する。 (H28・29) PFI導入可能性調査・業者選定 (H30) 中学校空調整備 (H31・32) 小学校空調整備	H28.4~	-	-	18,216

プラン区分 (目標-基本施策)	事業名	事業概要	事業開始 (事業期間)	事業費(千円)		
				H26決算額	H27決算 (見込)額	H28予算額
8-②	三世代近居・同居ハッピーライフ推進事業	離れて暮らす子どものいる子世帯と親世帯が近居または同居する際の固定資産税等相当額(住居取得の場合)又は引っ越し費用(賃貸住宅の場合)の補助を行い、子世帯と親世帯が互いに支え合い安心して暮らすことができる三世代の近居・同居を推進する。	H28.4～	-	-	1,050
8-③	赤ちゃんの駅事業	乳幼児を連れた保護者が外出時に気軽に立ち寄れる授乳やおむつ替えをできる場所を「赤ちゃんの駅」として登録することにより、子育て環境の整備を促進するとともに、社会全体で子育てを支援する意識の醸成を図る。	H28.4～	-	89	-
8-④	子どもの健全育成支援事業	生活保護世帯の子ども(中学生)に対して、進学や進路に関する相談・助言を行う。また、保護者に対する子どもの養育に必要な知識や進学に関する公的支援等の情報提供を行う。併せて、家庭訪問を行い世代を超えて貧困が生じる原因を探るための調査を行う。	H28.7～	-	-	6,000

すくすく大分っ子プラン 目標別進捗状況

■目標別達成状況

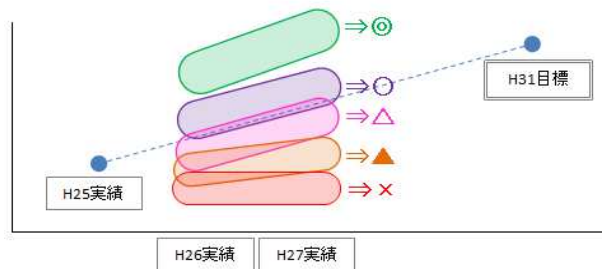
目標区分		達成状況※ ₁ (事業数)							達成率※ ₂	
		◎	○	△	▲	×	-	合計		
目標1	妊娠・出産・育児の切れ目のない支援の充実	3	4	2	1	2	0	12	58.3%	
目標2	乳幼児の発育・発達に向けた支援の充実	1	2	2	2	0	0	7	42.9%	
目標3	乳幼児期における教育・保育の提供	6	2	1	2	3	0	14	57.1%	
目標4	知・徳・体をバランスよく育成し、 生きる力をはぐくむ学校教育の推進	4	1	0	0	0	0	5	100.0%	
目標5	学校・家庭・地域社会が一体となった 開かれた学校づくりの推進	2	1	1	1	1	0	6	50.0%	
目標6	安全・安心な学校づくりの推進	2	1	0	0	1	0	4	75.0%	
目標7	子どもと家庭へのきめ細やかな支援	1	9	0	2	4	0	16	62.5%	
目標8	子どもと子育てを支える社会づくり	4	8	2	0	1	0	15	80.0%	
目標9	仕事と子育ての両立支援	1	4	0	0	0	1	6	83.3%	
合計		事業数	24	32	8	8	12	1	85	56
		割合	28.2%	37.6%	9.4%	9.4%	14.1%	1.2%	100.0%	65.9%

※₁ … 印別の達成状況は以下のとおり

- ◎ 達成済または目標を超える実績を達成
- 目標に向けて順調に実績を伸ばしている
- ▲ 改善傾向であるが、目標達成までは更なる改善が必要
- △ 実績が伸びていない。このままでは達成が困難
- × H25時点と比べ実績が低下しており、目標達成が困難

※₂ … 達成状況が◎または○に該当する事業の割合

【達成状況のイメージ】



■達成状況 (レーダーチャート)

